## P12

## テザー牽引を用いたデブリ除去衛星の初期検討 —数値シミュレーションによる設計パラメータやモデルの影響評価— Satellite active debris removal using tethered tug -Evaluation of design parameters and modeling by numerical simulations-

○島野徹(早稲田大学),河本聡美,壹岐賢太郎(宇宙航空研究開発機構), 森野美樹(早稲田大学)

○Toru Shimano (Waseda Univ.), Satomi Kawamoto, Kentaro Iki (JAXA), Yoshiki Morino (Waseda Univ.)

本研究では、ロケット上段などの大型デブリを対象としたテザー牽引を用いたデブリ除去について検討する。 デブリ除去手法のひとつとして、スラスタなどの推進系を持った衛星とデブリをテザーによって連結し牽引す る手法が、各国で検討されている。この際の挙動に関して、デブリ除去系を離散質点としてモデル化し数値 シミュレーションによって解析する。先行研究では2質点モデルを用いたものや深宇宙を想定したものなど簡 易的な解析が主である。そこで本研究では、まず離散質点モデルの質点数の影響について比較を行う。さら にスラスタ推力、テザー剛性、テザー長さの設計パラメータおよび初期姿勢が、系の挙動に対してどのように 影響するかを評価する。

